

ガイアナ内政、経済、外交月間報告
(2024年11月)

在トリニダード・トバゴ日本国大使館

11月のガイアナの内政、経済、外交月間報告(カリコム動きを含む)は以下の通り。

1 概況

- ExxonMobil Guyana 社は、2019年にスタブロック鉱区で生産を開始して以来、合計原油生産量は5億バレルに達したと発表。これまでに合計54億米ドル以上の原油及びロイヤリティ収入が天然資源基金(NRF)に納付されている。
- 国会は845億ガイアナドル(約4億米ドル)の補正予算を承認。
- アリ大統領の招聘を受け、モディ・インド首相がガイアナを公式訪問。両首脳は二国間会談を行い、保健、炭化水素エネルギー、農業、金融・リアルタイム決済システム及び医薬分野での協力に関する合計5つの覚書を締結。
- アリ大統領はモディ首相に対し、ガイアナ最高の国家勲章「Order of Excellence」を授与。
- ガイアナの首都ジョージタウンで第2回カリコム・インド首脳会合が開催。

2 経済

- (2日報道)中国大使館は保健省に対し、32万米ドル相当の医療機器を寄贈。
- (3日政府発表)2021年に開始したコレンティーン沿岸の汽水エビ生産量増加事業により、2021年は月平均9,833キロだった生産量は、2024年は月平均98,159キロを記録。
- (5日報道)天然資源省は、2024年～2028年の三井海洋開発(MODEC)のローカルコンテンツ計画を承認(当館注:Local Content Actは、ガイアナ企業及びガイアナ人を一定数事業に従事させることを求める法令)。
- (8日報道)トルコのKarpowership社は、ガイアナ国内最大の公共送電網であるDemerara Berbice Interconnected System(DBIS)に対する60MWの電力追加供給に関する入札を落札。
- (14日、17日報道)ExxonMobil Guyana 社は、2019年にスタブロック鉱区で生産を開始して以来、合計原油生産量は5億バレルに達したと発表。これまでに合計54億米ドル以上の原油及びロイヤリティ収入が天然資源基金(NRF)に納付されている。
- (27日報道)政府と米州開発銀行(IDB)による総工費44.35億ガイ

アナドル（約 2, 100 万米ドル）の最先端の病院建設が第 1 地区のモルーカ小
区で開始。中国国家医薬集団（Sinp pharm）により建設される。

●（27 日政府発表）国会は、ハイチを始めとするカリコム諸国への人道支援と
して約 1. 23 億ガイアナドル（約 58 万米ドル）を承認。

●（28 日報道）国会は、出力 300 メガワットのウェールズ発電所（天然ガス
発電所）及び液化天然ガス施設の建設に 253 億ガイアナドル（約 1. 2 億米ド
ル）の追加予算を承認。

●（29 日報道）ジャグデオ副大統領は、米国輸出入銀行がガイアナの Gas-to-
Energy プロジェクトに対し約 5 億米ドルの融資を承認したと発表。

●（29 日報道）国会は 845 億ガイアナドル（約 4 億米ドル）の補正予算を承
認。

●（30 日報道）アフリカ輸出入銀行は、英 JE Energy 社によるガイアナの原油
販売を支援するため、1 億米ドルの援助契約に調印。

●（30 日報道）カナダ高等弁務官は、先住民コミュニティのエンパワーメント
及びジェンダーに基づく暴力撲滅のため、合計 10 万カナダドル（約 7 万米ドル）
を贈与。

3 外交

●（12 日、13 日、20 日、21 日報道）アリ大統領の招聘を受け、モディ・
インド首相がガイアナを公式訪問。両首脳は二国間会談を行い、保健、炭化水素
エネルギー、農業、金融・リアルタイム決済システム及び医薬分野での協力に関
する合計 5 つの覚書を締結。

●（21 日報道）アリ大統領はモディ首相に対し、国際場裏で発展途上国の声を
代弁するリーダーシップや両国間の絆の強化等への貢献を称え、ガイアナ最高
の国家勲章「Order of Excellence」を授与。

●（27 日報道）ガイアナとバハマは、両国間の航空サービスの促進・円滑化を
目的とした航空サービス協定に調印。

4 カリコム

●（5 日カリコム発表、5 日ガイアナ報道）ガイアナで、国際協力機構（J I C
A）と米州開発銀行（I D B）共催の「持続可能な水資源」に関するフォーラム
が開催され、クロール・ガイアナ住宅・水道大臣やバーネット・カリコム事務局
長、松原大使等が出席。

●（11 日カリコム発表）第 2 回カリコム・インド合同委員会会合がオンライン
で開催。

●（12 日、22 日 T T 報道、21 日カリコム発表、）ガイアナの首都ジョージ

タウンで第2回カリコム・インド首脳会合が開催。カリコム・インド間で、特にエネルギーとインフラ、農業と食糧安全保障、保健・医薬及び技術・イノベーションの分野における経済・商業協力関係を強化することで合意すると共に、国連安保理の包括的改革が急務であることを表明。

●（27日カリコム発表）第14回韓国・カリブ・パートナーシップ・ハイレベル・フォーラムがソウルで開催され、主に地域の食糧安全保障に関して協議された。